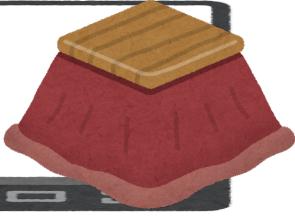




ICT通信 12月号



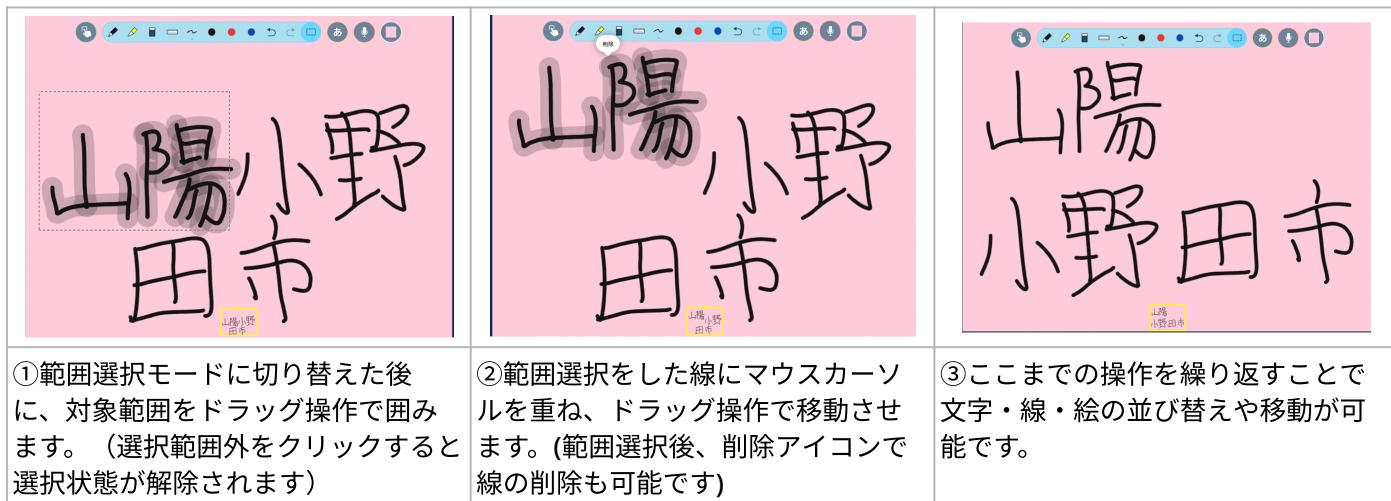
1:35 / 3:40

＜今月のTips＞ ロイロノート 2つの新機能をご紹介！

◆新機能1 手書きの線を動かす方法



手書きツールの「点線の長方形アイコン(上図の赤枠)」をクリックすると、「範囲選択モード」に切り替わります。移動させたい範囲を選択してからドラッグ操作をすることで、指定範囲の移動や削除が可能です。



◆新機能2 カードを画像ファイルとして書き出す

今までPDFファイルとしてカードの書き出しが可能でしたが、「画像としてカードを書き出す機能」が新たに追加されました。Googleドキュメントやスプレッドシート、スライド、Microsoft Officeにも、そのまま図として挿入することができるため、「ロイロノートのカードを利用してスライドの資料を作成する」などの利用も簡単にできるようになりました。

＜ロイロノートのカードを書き出す操作手順＞

- ①書き出すカードを選択して編集ができる状態にします
- ②画面右上の「…」をクリックします
- ③「書き出し(β)」をクリックします
- ④「画像」をクリックします ※1,2
- ⑤表示された「名前を付けて保存」の画面から保存先をしてして、画面右下の「保存」をクリックするとファイルが保存されます



※1 PDFファイルとして書き出す場合は「PDF」を選択

※2 カードが連結されている場合は「このカードのみ」または「連結された全てのカード」のどちらかをクリックして選択します

<出合小学校> 1年生：生活／おうちの人がしてくれていることを考えよう

◆授業のポイント◆

- ・ ロイロノートの手書き機能を利用してすることで、タイピング操作を用いずカード作成ができる
- ・ ロイロノートの分類表を用いることで、直感的にカードを分類することができる

◆授業の流れ◆

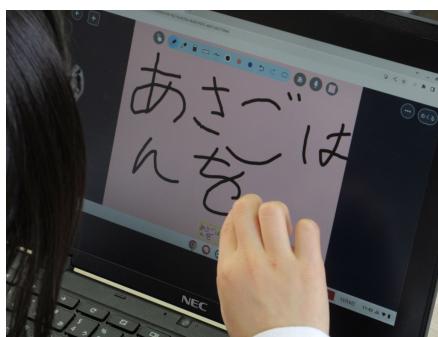
- ① おうちの人がしてくれていることを全員で考え、黒板に書き出す
- ② 先生があらかじめ作成していた「朝、学校に行くまでにしてくれていること」と「夜、寝るまでにしてくれていること」の分類表をロイロノートで全員に送る
- ③ ①を例にして、児童それがおうちの人がしてくれていることを考え、ロイロノートへ書き出す
- ④ ③のカードを②の表を使って分類する
- ⑤ グループ内で、意見交換を行う

◆授業の様子◆

料理を作ってくれるや洗濯物を干してくれる、お風呂掃除をしてくれるなど、様々な意見がありました。グループでの意見交換の際も「そういえばこれがあった」といったやりとりがあり、Chromebookの画面を見せ合いながら授業が進められていました。



各自でカードを作成している様子



手書き機能でカードを作成



グループ内で意見交換

<厚狭中学校> 3年生：国語／言葉遣いを使い分けることができる

◆授業のポイント◆

- ・ 予め作成しておいた資料を用いて説明することで授業進行の効率性や生徒の理解力向上が期待できる
- ・ 提出箱を利用することで、提出物がスムーズに回収できる

◆授業の流れ◆

- ① 先生がロイロノートで事前に作成したカードを使って言葉遣いに関して説明を行う
- ② 先生から生徒へ問題プリントが配布され、生徒は問題プリントへ解答を記入
- ③ 生徒は自身の解答を発表し、先生が黒板で問題の解説を行う
- ④ 生徒はロイロノートに自身の考えをカードにまとめ、グループに分かれて意見交換を行う
- ⑤ グループごとで考えをまとめて、ロイロノートの提出箱へカードを提出

◆授業の様子◆

先生からの説明時にロイロノートを使用することで、授業が分かりやすくスムーズに進行し、生徒が考える時間もしっかりと確保されていた。また、特定の生徒だけではなく、クラス全員で意見を出し合える環境がとても良かったと感じました。

